



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



ロータリーは
機会の扉を開く

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：鳥山 優子 副会長：清水 雅広 幹事：江藤 博一 クラブ会報委員長：葛西 敬

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2021年 5月13日 第 3310 回 週報第 3310 号

本日 5月13日	会員数 61名	対象者 60名	出席者 44(44)名	出席率 73.33%			
前々回 4月22日	会員数 61名	対象者 60名	出席者 40(40)名	出席率 66.67%	MUP 0名	計 40名	修正率 66.67%

本日の卓話者ご紹介

日蓮大聖人御一泊霊場 松雲山 要法寺
住職 守屋宣成 会員



卓話

「入会記念卓話」

日蓮大聖人御一泊霊場 松雲山 要法寺
住職 守屋宣成

現在、要法寺の住職を勤めております守屋宣成です。どうぞよろしくお願いいたします。今回は私が住職を務めます要法寺についての話させていただきます。

私は昭和55年に要法寺に生まれ、小中学校まで平塚市内にて過ごし、高校から総本山身延山久遠寺にありま身延山高等学校にて僧道教育を受け、立正大学では仏教学部宗学科にて学び、大学卒業後に要法寺の副住職に就任し、令和元年に第四十代の住職に就任いたしました。

さて、私が住職を務めます要法寺は、鎌倉時代、地頭北条泰知の屋敷でありました。泰知は鎌倉幕府の執権北条泰時の次男で熱心な念仏信者の父泰時の影響を受けていたため、最初は念仏信者でしたが、日蓮大聖人が龍の口で処刑（龍の口の法難）されんとした時、江の島の方より光り物があらわれ、処刑人の刀が折れて飛び散り処刑人が失神するという不思議な現象を見聞した泰知は、以来、深く法華経を信じ大聖人に皈依するようになりました。

そしてこの平塚の地において日夜熱心に法華経の信心修行をつづけ、その功德によって世人の尊敬を一身に集めるところとなり、平塚左衛門尉泰知と呼ばれ慕われるようになったのです。

弘安五年（1282年）九月八日未明、泰知の夢枕に「日蓮大聖人が本自身延山を出発し、九月十六日平塚にご来臨される、謹んでお迎えし仏法の奥義を聴聞せよ」という七面天女のお告げがありました。そのため泰知は心から喜悅し七日七夜にわたって齋戒沐浴を自らに課して心身を清め、大聖人ご一行をお待ちしていました。いよいよ九月十六日の午後四時ごろになって、泰知は一族郎党そして長谷川常德入道、鶴若太夫はじめ平塚の主だった人々と共に、謹んでご到着のご一行を自らの屋敷にお迎えしたのでした。

大聖人はその夜、集まった多くの人々のためにご説法を行い、法華経神力品の「四句要法」の一節を解説されました。その時、邸内にあった平真砂子の塚（平塚の塚）にそびえ

立つ老松に紫雲がたなびくという瑞相があらわれ、それを眼前に見た一座の面々百六十余名は等しくお題目を唱和し、随喜讃仰し、法華経の信者になったのでした。



要法寺ホームページより

わけでも泰知は深く感動し「たとえ北条氏に背き父君の意志に反すとも、この有難い法華経のためならば」と大聖人に懇願して直弟子となりました。また、自らの館を献上して寺とすることを誓い、大聖人より紫雲の瑞相にちなみ「松雲山」そして四句要法の一節にちなみ「要法寺」との山号と寺号をいただき、自らは松雲院日慈上人との法号を賜り当山は開山されたのです。時に弘安五年九月十六日のことであります。それより七四〇年以上が経ちますが、脈々と要法寺を継承し、現在に至ります。

現在では平塚にある蓮のお寺として、30種類、80鉢の蓮が境内に並び、たくさんの方々が見にくる寺院となっています。

卓話者ご紹介

氏名：守屋 宣成 (もりやせんじょう)
日蓮大聖人御一泊霊場 松雲山要法寺 住職
生年月日：1980年2月14日生 41歳



略歴 (僧侶)

- 1995年 身延山高等学校に入学
(日蓮宗総本山が経営する僧侶育成高校)
- 1998年 立正大学仏教学部宗学科に入学
- 2001年 日蓮宗信行道場に入行
(日蓮宗教師、正式に僧侶となる)
- 2002年 要法寺 副住職 就任
- 2003年 日蓮宗大荒行堂 初行 (1回目) 入行
(日蓮宗修法師の資格を取得、ご祈祷が許される)
- 2008年 日蓮宗大荒行堂 再行 (2回目) 入行
- 2019年 要法寺 第40世住職 就任

略歴 (その他)

- 2007年～2020年 公益社団法人 平塚青年会議所
- 2017年 公益社団法人 平塚青年会議所 第59代理事長
- 2018年～ひらつかリトアニア交流推進実行委員会
ホストタウン部会長
- 2020年～平塚市教育委員会 委員



入会記念卓話をされて会長より記念品を受け取られた守屋宣成会員



要法寺ホームページより

会長報告

先日、平塚湘南ロータリークラブの30周年式典がありました。久保田ガバナーや第8グループの会長と共に出席させていただき、私は「自然に続けていくことの大切さ」に気づかされました。

平塚湘南ロータリークラブは創立当初から続けている奉仕活動2つあります。1つは盲学校など養護学校に対する支援活動、もう一つはフィリピンのシキホール島に対する支援活動です。

盲学校に対する支援活動では、JR平塚駅で、点字ブックへの理解を深めてもらうためのチラシ配布などをされているとのことでした。フィリピンのシキホール島に対する支援活動は、水道を施設する事業の支援や現地の子供たちに中古の鍵盤ハーモニカを寄贈されたりしているとのことでした。式典ではこうした活動内容を振り返るスライドが映し出されるのですが、そこに映っている会員の皆さんがにこやかで楽しそうにしているのがとても印象的でした。

さて、続けるといえば、私にもひとつ長く続けていることがあります。それは、ピアノです。叔母がピアノの先生だったこともあり、5歳からピアノを弾き始めました。今だったら、えこひいきだと批判されてしまそうですが、小学校の時には自分が作曲した曲を編曲してクラスメイトに演奏してもらったこともあります。

大人になってからは仕事が忙しくなり、また他の趣味に時間を割くようにもなりましたが、それでも時間がある時にはピアノを弾くというのが私の中では当たり前になっています。これが習慣になっているかと聞かれればよくわかりません。なぜなら、習慣というと、無理して続けなければならないというイメージがあるからです。でも間違いなく言えるのは、私にとってのピアノは、あると安心するもの、そしてなくなったら心にぽっかり穴が開くものです。

私たち平塚ロータリークラブにも素晴らしい活動がたくさんあります。長く続けているものもあれば、WEB例会のように始めたばかりのものもあります。そうした活動を無理せず、自然に続けていく。むしろ続けることが安心や安らぎにつながる。さらにそれが世のため人のためになるなら、これ以上素晴らしいことはないのではないのでしょうか。

2019年2月14号より
タウンニュース平塚版



フィリピンのシキホール島にあるラレーナ市営ホールで「笑顔と夢のハーモニー～鍵盤ハーモニカコンテスト」を開催した時の様子



誕生日祝いの平井会員



米山記念奨学会特別寄付者感謝状を受け取られた左から馬上会員、常盤会員、会長を挟んで小野会員

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース Vol.254 2022年9月12日発行

ハイライト よねやま

1. 軍政続くミャンマーから学友リポート

今年2月1日から、臨時の悲しい出来事に、ああこれが夢だったら……と考える日はありません。心が揺れそうになるのを耐え、平和と繁栄を祈る日々です。

あの日から私たちの生活は一変しました。今まで毎日の暮らしが色づいてきましたが、できる事はほんの僅かに留められ、何をしても不安がつきまわります。インターネットは企業用と先ファイアウォールが通らないので、多くの市民は外観の情報を得ることができません。私の家族では、せめて子供たちの教育だけは守りたいと、オンライン授業を受けていますが、それも困難な状況です。最近の買ひ物や銀行へ行くといった外出する機会はありません。

学友メンバーとは会員は連絡が取れていませんが、皆無事だと思っています。ただ、最近は無名の人、匿名のボランティア団体などが現われ、連絡されたりしています。集まることを求められるため、今ミャンマーではロータリークラブの例会や活動、米山学友会活動を行うことができません。互いの連絡も保たれている状況です。ミャンマーの若者は勇気があり、心優しく、賢い人が多いです。私はこの国の未来のために、これからもミャンマーで現地の若者や子供を育てる仕事を続けていきたいです。

国内は経済状況が悪化し、食糧が必要な国民が増えています。ミャンマーの平和な日々を望むので取り戻し、今後もロータリーの活動がミャンマーで継続できるよう願っています。皆様のご支援についても心から感謝しています。(匿名希望 2010-11年度米山奨学生より)

2. 被害を受けた家庭へ物資などを提供

ミャンマーの現状に心を痛めた米山奨生のメンバーが支援を申し出たことを受け、在日ミャンマー人学友(匿名希望 2018-20年度米山奨学生)が家族の協力のもと、現地で被害を受けた家庭約 30 軒に米などの食料と生活必需品を提供したほか、支援をたくした米山奨生へ1ヶ月分の学費を寄付しました。

「ハイライトよねやま」では、ロータリー米山記念奨学会の最新ニュースをご覧いただけます。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会公式ホームページにも掲載されています。

幹事報告

- ◎5月15日(土)15:00より次年度幹事研修がZoomにて開催されます。米山俊二次年度幹事が出席されます。
- ◎5月27日に開催いたします会員健康診断に受診申し込みされました会員に、本日検査キットをお渡し致しますので、例会後に受付にて受け取って下さい。
- ◎6月3日(木)に下期情報集會報告会が開催されます。本日グループ一覧表を配布いたしましたので、各グループ幹事の方はお手配をお願い致します。今回のテーマは「コロナに負けるな！コロナ禍でも会員拡大・出席率の向上を図るには」です。開催方法については対面、またはリモートのどちらかを選択して頂きます。対面でお食事をされる場合はクラブより一人3,000円の補助が出ます。この様な状況下ですが、安全に配慮して、皆さんに多くのご意見を交わして頂きたく、お願い申し上げます。

委員会報告

・今週の委員会報告はございません

今週のお祝い

誕生日祝い・・・平井敬規会員
結婚祝い・・・三荒弘道会員、柳川信男会員

メイクアップ (MUP) 0名

本日のスマイル 23名

ゲスト 0名

ビジター 0名

卓話・行事予定

5月20日(木) 長期計画委員会 升水一義委員長
5月27日(木) 会員健康診断

市内例会変更

現在ございません